

診療科	血液内科
-----	------

疾患名	移植適応多発性骨髄腫
-----	------------

レジメ名	Dara-VRD移植適応(7サイクル目以降)
------	------------------------

投与間隔	1サイクル	4週間	PDまで
------	-------	-----	------

商品名	一般名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日					
						day1			day28		
ダラキューロ	ダラツムマブ		1800mg/body	皮下注	3-5分	●					
レブラミド	レナリドミド	LEN	10~15mg/body	経口		day1-28					
レナデックス	デキサメタゾン	DEX	10mg/body	経口		※					

備考(実施手順、使用器具、予測される副作用とその対応、休薬・減量・中止基準、患者への注意事項等)
静注制吐剤なし
ダラツムマブ投与開始1〜3時間前に、副腎皮質ホルモン製剤(レナデックス)、カロナール900mg、ポララミン2mgを内服する。
※day1は、ダラキューロの前投薬としてレナデックスを投与する(臨床試験時は10mg投与。前クールでinfusion reactionを認めた場合や患者の状態に応じて、医師判断にて用量調整することあり)
10コース目以降、忍容性があれば、レナリドミドは10mg/bodyから15mg/bodyへの増量を考慮する。
レナリドミドはPDまたは許容できない毒性が生じるまで継続検討。
ダラツムマブはCR以上かつMRD陰性(感度の10の-5乗以下)が12ヶ月以上持続し、かつ維持療法を24ヶ月以上実施した場合には中止可。

登録年月日
2025年 9月 3日

登録No.
633